

N A N I W A 2 2 号

**転進金の募集など待ってられない。
闘って、闘って取らねばでてこんぞ。
継続雇用もまともに不利益ないように示せ**

私たちは、どうして転進しなければいけないのか。そもそも、この組合に残って闘うといったのは、このR Aという仕事を続けたかったからではないのか。転進金を取りに行くとは、どこで転進することを了承したのか甚だ疑問だ。支部もしっかりと闘う方針を6月からうちだし、雇用と生活に根付いた闘いのために方針の修正を全組合員に示すべき時にきた。枝葉はあとで相手が提案してくるものだ。全員が一致団結しなければ解決できない。闘いの到達点を見据えた要求実現のためにも、全員で乗り越える確かなものを組合員に示していこう。提案する側もされる側も温度差をなくし、ひとり一人が正確に闘いが動いている状況を把握し対応していこう。

継続雇用についても明確にしめさせ、不利益をあばききることが大事だ。
ここまで継続雇用についても、執拗にR Aの登用を会社は拒み、牙を剥き、したたかにまた、冷静沈着に一人ひとりを切り崩して行く姿はすべての旧日動に向けられたものであり、いがみ合ってる場合じゃないです。

今後も私たちは各分会にも呼びかけ、職場の監視、「わたしは見てるぞ、聞いているぞ」と言う思いで「記録し」仲間に対し対応していきましょう。

「余談」

ある損保会社みたいに長く業務停止になったら、「競業避止」はどう影響するのか。

ひとりみんなのために みんなはひとりのために
全損保日動外勤支部大阪分会